

スマイルトイレプロジェクト－持続可能な衛生環境改善による笑顔あふれるまちづくり－（2019年～2024年）

トイレ建設でまちを笑顔に！

- 実施団体：認定NPO法人日本ハビタット協会
- 対象国・地域：ケニア国ホーマベイ郡カボンド地区
- 現地カウンターパート：SAWA YUME KENYA（現地非営利団体）

■ 協力内容：

- ・ ワークショップによる住民の衛生意識改革、トイレ建設指導
- ・ トイレの建設費用創出のための収入向上活動（農業・養鶏）

■ 団体のこれまでの取り組み：

2008年よりケニア、タンザニア、ウガンダ、ラオスにおいて、トイレ建設や手洗い場の設置、衛生指導による人々の意識改革を行い、健全なコミュニティの発展に寄与してきた。

■ 事業実施の背景：

事業対象地域において、トイレ普及率は非常に低く、人口の42%しか衛生的なトイレを持っていない。不衛生な環境は、病気リスクの増加、貧困の増大、子どもの出席率の低下、女性の社会進出の阻害等を引き起こし、コミュニティの発展を妨げる。トイレや手洗い場の設置が行われ、取組が持続していくためには住民の衛生意識の向上に加えて、住民自身がトイレ建設のための費用を得られる仕組みを作っていくことが重要である。



ケニア国の課題と成果

課題① 衛生意識が低くトイレがないため野外で用を足す
成果① 5年間で約**6,000人**に対して衛生意識向上のワークショップを行い、野外排泄の撲滅を達成した。

課題② トイレや手洗い場の建設技術が不足しており、建設するための費用もない。

成果② バナナの栽培指導と養鶏指導により住民の収入が向上し、事業を通じて約**2,860基**のトイレ、約**3,180基**の手洗い場が新たに建設された。



Before

After

事業の波及効果

★対象地域で野外排泄ゼロを達成！

トイレ普及率は**59.2%**から**98.2%**まで向上
 手洗い場の普及率は**36.9%**から**83.9%**に！

★下痢の患者数が減少

野外排泄の減少や手洗いの習慣化等により、対象地域での下痢の罹患率が約**73%**減少

★最も衛生状況改善に取り組んだ県として表彰
 活動地のあるホーマベイ県の衛生環境改善への取組が政府に評価され表彰された